

ふじやまだより



本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

お正月を迎える準備 餅つきと年賀状づくり

草木に霜が降り、木枯らしが吹き始めるようになると、ふじやま公園でも新しい年を迎えるための準備やイベントが始まります。12月18日(日)には、子どもたちお待ちかねの恒例年末もちつき会が古民家前の中庭で行われます。

つきたての餅を餡や大根おろしに絡めたりお雑煮にして食べる時、日本人であることを再認識したり、ささやかな幸せや心の落ち着きを感じる方も多いと思います。当日は、公園のボランティアや来園された方にも“昔取った杵柄”を発揮していただき、おいしいお餅をつきたいと思います。



先着 150 名様に、二色餅 1 パック 200 円で販売します。

また、テント内では同時に版画の年賀状作りも開催します。今年では日本では大震災が発生し、外国でもタイの大洪水やトルコの大地震など暗いニュースも多く伝えられています。来年こそは明るいよい年になるよう気持ちを込めた手づくりの年賀状を作ってみませんか。餅つきや年賀状といった日本に伝わってきた美しい生活習慣や食文化はこれからも大切に守っていききたいものです。

多くの方の参加をお待ちしています。

日時：12月18日(日) 10時～12時(もちつき会、年賀状づくり)
雨天実施(古民家内で)



朝晩めっきり冷え込むようになり、テレビでは紅葉情報が取り上げられることが多くなった。解説の気象予報士によれば、日本人が秋から連想する色は山や空の赤と田んぼの黄金色だそう。公園を眺め渡してみると、もう11月に入ったというのにモミジは緑のままで、わずかに黄色い柿が秋らしさを感じさせてくれるだけだ。

これから、ハゼやドウダンツツジの葉が赤く色づき、赤とんぼが飛び交うようになった時、公園にも私たちの郷愁を呼び起こす真っ赤な秋が到来ということになるのだろう。

夕方になって吹き始めた北風に冷え切ってしまったわが身を迎えてくれたのは秋になるとおいしくなる日本酒。明治の歌人が静かに飲むものだと言った透明に澄んだ秋の色がここにもあった。



能舞・能管コンサート

10月29日午後6時半から古民家主屋で第2回の能舞・能管コンサートが行われました。

コンサートは長屋門の外から行灯の間を歩みながら行う連管「下がり端(カガリ)」、謡と能管「忠度」と続き観客を幻想の世界に導きました。



仕舞「敦盛」「熊野(ユヤ)」「経正(ツマサ)」、創作能舞「月~いのりと共に」が演ぜられました。

間に熊谷眞智子能楽師からの能舞と演目について、根岸啓子能管奏者から能管について解説がありました。約2倍の応募の中から抽選で当たった皆さんは幽玄の世界を堪能されたことと思います。

ボランティアの皆さんが絵を描いた約100個の行灯が、長屋門外の園路から中庭まで飾られました。行灯だけでも鑑賞したい申込んだ方も何人かおり、こちら楽しまれた方も多く好評でした。



駐輪場ギャラリーで作品展

恒例となりました「本郷ふじやま公園楽しい教室」の作品展が、本郷台駅前駐輪場ギャラリーで8日(火)から開かれています。子ども工作、布ぞうり、篆刻などたくさんの作品がギャラリーを飾っています。皆さん、ふと足を止めて展示を楽しんでおられます。



作品展は、11月20日(日)までです。どうぞ、ご覧ください。

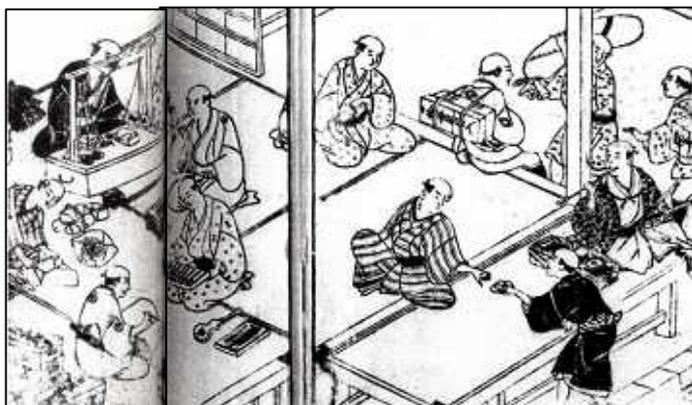
区民まつり



11月5日に本郷中学校で開催された栄区民まつりは、薄曇りで暖かな絶好のコンディションのもとで開催され、ふじやま公園ブースでも竹炭が売り切れたため急遽公園から補充したり、輪投げゲームで小学生が賞品のかざぐるまを一人で3個ゲットするなど、多くの参加者で大賑わいでした。

内蔵の宝 両替商の看板

江戸時代は金(小判など)、銀(丁銀、小玉銀)および銭(寛永通寶など)という三つの基本通貨が併行流通した三貨制度でした。そして日本各地のたくさんの種類の貨幣が流通しました。多くの人にとって、真贋・品位の判定は難しく、おまけに実態は貨幣の流通量に応じた変動相場でした。このため



に貨幣を「商品」として扱う専門の両替商が生まれました。



ふじやま公園にある看板は映画などでよく見る形とは異なりますが、やはり同じような機能を持った両替商の看板と思われます。風雨に晒されて木質はかなり傷んでいて歴史を感じさせます。

活況を呈した江戸時代の両替屋の店頭『元禄版塵却記大全』より。(「貨幣の歴史学」日本銀行情報サービス局)

古民家を守る(その6) 放水銃移設



10月下旬、工作棟北の緑地に新しく三方を囲った黒竹枝垣がお目見えしました。高さ4~5メートルの夏ミカンの木が植えられていた



場所です。囲いの中には放水銃が鎮座しています。この放水銃は日本庭園南端にあったものを移設したものです。古民家主屋と長屋門の屋根により確実に放水できるようになり、操作もしやすくなりました。放水銃の他に消火栓がありホースは中庭中央まで伸ばすことができます。この移設で古民家を火災から守る手段がより確実に言ったと言えるでしょう。なお二代目の夏ミカンが西側に植えられました。



『いろり辺雑記』から(原文のまま)

古民家に来て、思わず口ずさみました。

静かな静かな里の秋 お背戸に木の実の落ちる夜は
あ~母さんとただ二人 栗のみ煮てます 囲炉裏端



ふじやま公園の植物

ハゼノキ(ウルシ科)

暖地の野山に生え、秋には他の木々にさきがけ真っ赤に染まり人目を引く。高木で樹高10m程になる。5月~6月、黄緑色の小さな花を(円錐花序)10cmほど出し秋には茶色の果実となる。日本には果実から木蠟を採取する資源作物として江戸時代頃に中国から琉球王国へ持ち込まれた。山地に生えるハゼノキは野生化したものと思われる。高カロリーの餌として鳥が種子散布する。



平成23年12月度ボランティア活動予定



部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	2日(金)	古民家歴史部会 部会	11日(日)
農芸部会 部会	19日(月)	古文書解読勉強会	4日(日)25日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	1日(木)
里山部会 作業	10日(土) 11日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
	17日(土)25日(日)		
工作棟部会 部会	28日(水)	クリーンアップ	6日(火) 20日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	3日(土)
ホームページ制作打合せ	11月27日(日)	印刷	10日(土)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日時	内容	参加費	応募期限
ミニ正月飾り	12月23日(祝・金) 10時～12時	正月用リースづくり	300円	12月10日(土) 30名 中庭テント
炭焼き体験教室 1月教室 (全3回)	1月14日(土)9時～12時 15日(日)8時～17時 21日(土)9時～12時	自分の手で竹炭を焼いてみませんか (窯詰め、火入れ、窯出し) 3回とも参加できる方	無料	12月24日(土) 10名 炭焼き広場
布ぞうり作り	1月19日(木)10時～15時	一日で一足完成します	500円	12月25日(日)
第72回初心者茶道体験教室	1月21日(土)13時～16時	古民家で茶道を楽しんでみませんか	500円	12月26日(月) 10名
伝統工芸「鎌倉彫」を彫る	1月27日(金) 2月10日(金) 2月24日(金) いずれも 10時～12時30分	18cmの平皿に「椿文」を彫ります	2,000円	12月25日(日) 10名
里山のそば打ち教室	1月28日(土)10時～12時	新しい年を迎え、そば打ちに参加してみませんか 初めての人も美味しいそばが打てます	800円	1月12日(木) 6名

- (1)持参品：返信はがきで連絡します。(2)定員：12名。応募者多数のときは抽選
(3)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

・・・お知らせ・・・

年末もちつき会 同時開催：版画で年賀状作り
日時：12月18日(日)10時～12時 雨天実施
明るく楽しく元気にみんなでもちつき
二色餅 200円 先着 150名



門松づくり

日時：12月28日(水)午後
興味のある方は、一度、門松をつくる所をご覧になってはいかがでしょうか

10月ふじやま公園来園者数 2,015名 累計 1,169名

・開館時間	： 9：00～17：00
・入館料	： 無料
・休館日	： 12月7日(水) 正月休み12月29日～1月2日まで
・クリーンアップ	： 12月6日(火)20日(火) 10時～11時

ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：896-0590 FAX：896-0593
「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。